

環境活動レポート ”2021”

対象期間 : 令和2年7月1日 ~ 令和3年6月30日



北堀電気工事株式会社

〒426-0063 静岡県藤枝市青南町5丁目6番地の1

【TEL】 : (054) 636-1278 【FAX】 : (054) 636-1746

【E-mail】 kd.tec@siren.ocn.ne.jp

発行日 : 令和3年10月1日

目 次

1	環境方針	P 1
2	事業の概要	P 2
3	エコアクション21実施体制	P 3
4	主要な環境活動計画の内容	P 4
5	環境目標と実績	P 5
6	環境活動計画の取組評価と次年度の取組内容	P 6
7	環境関連法規等の取りまとめと遵守状況	P 7
8	代表者による全体の評価・見直し記録	P8

1 環境方針

< 基本理念 >

北堀電気工事株式会社は、美しい自然環境を次世代に引き継ぐために電気設備工事に係る企業活動を通じて、環境活動の必要性を全社員が認識し、環境保全体制を構築し、その実現に努めます。

< 環境方針 >

- 1 企画・設計段階において、省エネルギー、高効率化等を活用し環境に配慮した商品等の提案を積極的に行います。
 - 1) 太陽光発電・オール電化
 - 2) LEDランプ・省エネ型照明器具

- 2 事業活動において環境負荷の低減と環境改善を図るために次の項目について重点的に取組みます。
 - 1) CO2排出の削減
 - 2) 廃棄物の排出削減及び適正処理
 - 3) 水資源の使用抑制
 - 4) グリーン商品購入

- 3 環境保全に関する法規等を遵守します。

令和元年度12月1日
北堀電気工事株式会社
代表取締役社長 北堀 一洋

2 事業の概要

1 事業所名及び代表者名

北堀電気工事株式会社

代表取締役社長 北堀 一洋

2 所在地

住所：静岡県藤枝市青南町5丁目6の1

3 環境管理の責任者及び連絡先

環境管理責任者： 八木 隆志

TEL：054-636-1278

FAX：054-636-1746

E-mail kazuhiro.kd.tec@poppy.ocn.ne.jp

4 事業内容

電気設備工事の設計・施工

5 事業の規模

活動規模	単位	平成元年度 (基準年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度
工事件数	件	817	805	817	715
売上高	百万円	537	548	537	779
従業員	人	25	25	25	27
床面積	m ²	180	180	180	180

(事業年度：7月1日～翌6月30日)

車輛台数

軽自動車	5台	普通自動車	9台
普通トラック	1台	高所作業車	1台
8tユニック車	1台	2tユニック車	1台

6 許認可

建設業の許可 静岡県知事許可（特-29）第 21437 号
許可年月日 平成29年8月30日
有効期限 平成34年9月26日 (電気工事業)

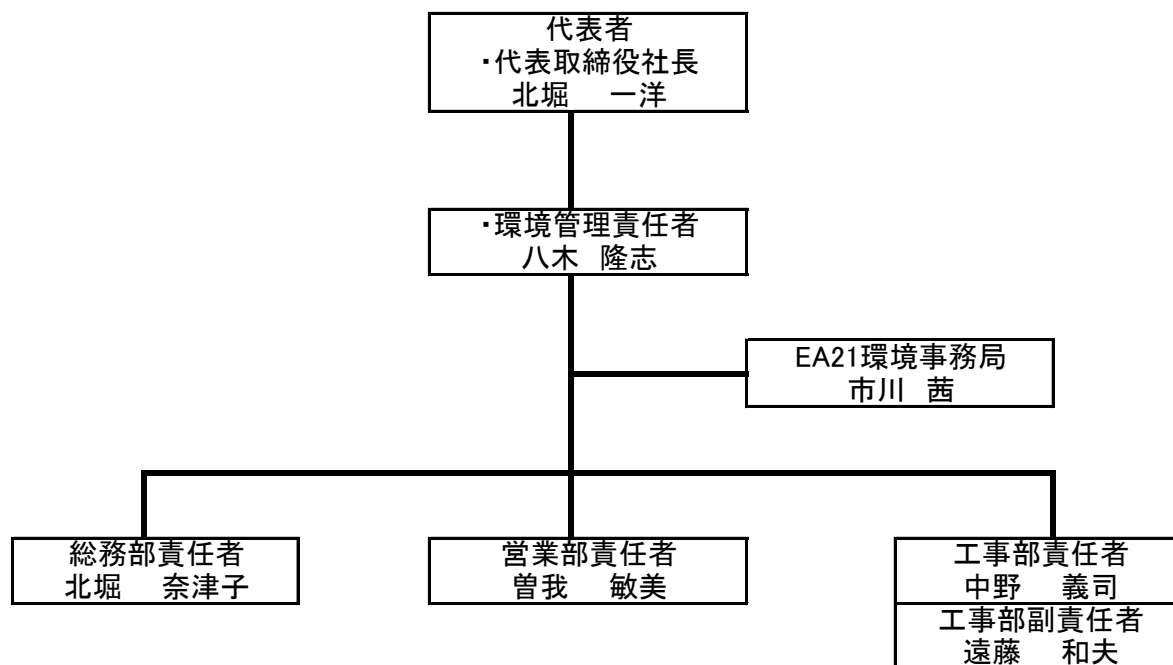
建設業の許可 静岡県知事許可（般-29）第 21437 号
許可年月日 平成29年8月30日
有効期限 平成34年9月26日 (電気通信工事業)

電気工事届出 静岡県知事 第 610014 号
有効期限 平成34年9月26日

7 対象範囲

対象組織：北堀電気工事株式会社 本社
対象活動：電気設備工事の設計・施工

3 エコアクション21実施体制



職名	主な責任と権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を定める。 ・環境管理責任者の任命。 ・資源（人材・資金・設備等）の用意。 ・環境経営システム全体の評価と見直し。 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・効率的な推進体制の構築と全従業員への周知
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの総責任者として必要な権限を持つ。 ・システムの構築・運用状況を代表者へ報告。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・システムの運用管理
EA21環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・システム全体計画の立案。 ・システム運用上の事務管理全般。 ・環境活動実施計画の実績集計。 ・一般教育の実施。
部署責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・部署における環境経営システムの実施と確認。 ・部署内の教育訓練の実施。 ・部署内の問題点の発見及び是正予防処置。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・定められた事を守り、自主的、積極的に環境活動へ参加。

4 環境目標と実績

(1) 環境目標

環境目標は令和元年度を基準年度とする。

項目	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
購入電力	Kwh	13,251	-0.5%	-1.0%	-1.5%
ガソリン使用量	リットル	16,527.5	-0.5%	-1.0%	-1.5%
軽油使用量	リットル	5,235.3	-0.5%	-1.0%	-1.5%
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	58,436.7	-0.5%	-1.0%	-1.5%
総排水量	m ³	838.0	-0.5%	-1.0%	-1.5%
廃棄物排出量	トン	8.6	-0.5%	-1.0%	-1.5%
省エネ・高効率製品採用実績	件	18	20	21	22

(2) 環境負荷の実績と評価

項目	単位	令和元年度 (基準年度)	令和2年度目標	令和2年度実績	実績の評価	
		令和元年7月～令和2年6月	令和2年7月～令和3年6月	令和2年7月～令和3年6月	目標比	評価
購入電力	Kwh	13,251.0	13,184.7	13,834.0	649.3	×
ガソリン使用量	リットル	16,527.5	16,444.9	12,688.9	-3756	○
軽油使用量	リットル	5,235.3	5,209.1	5,638.9	429.8	×
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	58,436.7	58,144.5	50,862.2	-7282.3	○
総排水量	m ³	838.0	833.8	742.0	-91.8	○
混合廃棄物排出量	トン	8.6	8.6	13.3	4.7	×
省エネ・高効率製品採用実績	件	18	20	20	0	△

(二酸化炭素排出量の算出に使用した電力会社毎の排出係数は、中部電力の平成26年度の0.497を使用した。)

5 主要な環境活動計画の内容（令和2年度）

活動計画	実行内容	責任者
電力使用量の削減	● 昼休み時間は電気を消す	市川
	● 長時間机から離れる時はパソコンの電源を必ず切る	市川
	● エアコンの適正な温度管理 (夏は27℃・冬は24℃が目安)	市川
	● 省エネ機器を使用する	市川
燃料使用量の削減	● エコドライブ運転を実行 (急発進・急加速しない)	遠藤
	● アイドリングストップを実施する	遠藤
	● 現場への相乗りを推進する ● 毎月の走行距離の記録、報告	遠藤
廃棄物の削減	● 可燃ごみ・不燃ごみの分別収集	遠藤
	● 産業廃棄物の分別処理の徹底 (分別処理とリサイクルを処理業者に依頼する)	遠藤
	● コピー用紙の使用量の削減 (裏紙使用の励行)	市川
	● 使い捨ての製品の購入を控える	市川
総排水量の削減	● 手洗い時等、こまめに栓を閉める	市川
グリーン購入推進	● エコマーク製品の購入の推進	市川
環境配慮事業	● 省エネルギー商品の客先提案	曾我

4 活動内容

<燃料使用量の削減>



作業車にエコ運転シールを貼る



事務所内にエコドライブ宣言を貼る

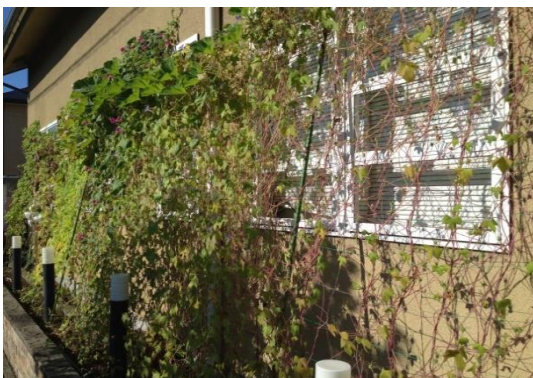
<節電への取り組み>



エアコンのスイッチに設定温度を貼る



節電型スイッチに取替



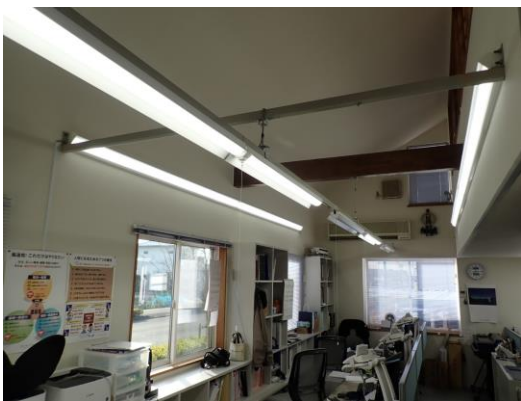
夏場のグリーンカーテン育成



各照明器具へのプルスイッチの取付
省電力型照明器具への取替え

4 活動内容

<節電への取り組み>



事務所内照明器具のLED化



事務所外部照明のLED化

<節水への取り組み>



節水型トイレにリニューアル



節水型トイレにリニューアル

<事務所内ゴミ分別への取り組み>



事務所内のゴミ分別を守る
ゴミの排出量を記録する

<省エネルギー、高効率化等の提案>



太陽光発電の提案、受注、施工

6 環境活動計画の取組評価と次年度の取組内容

○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

活動計画	実施状況	評価と次年度の取組内容
電力使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・電気消灯については席を離れる際に実行できている人とできていない人がいたが、気づいた人が消し節電意識を感じられる。 ・パソコンの電源については担当者によっては実施できていない人がいるので、再度社員への注意指導をしていく必要がある。 ・照明器具を省エネ型への取替え等、順次省エネ化を進めているがその他にも工夫改善していく必要がある。
● 昼休み時間は照明を消灯する	○	
● 長時間机から離れている時は パソコンの電源を必ず切る	△	
● エアコンの適正な温度管理 (夏は27℃・冬は24℃が目安)	○	
● 省エネ機器を使用する	○	
燃料使用料の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりガソリンの使用量が減少している。走行距離記録票を各自比較し更なる削減を目指す。 ・エコドライブ・アイドリングストップの徹底 ・現場への相乗りが実施出来ていない 同じ現場への相乗りを徹底する。
● エコドライブ運転を実行 (急発進・急加速しない)	○	
● アイドリングストップを実施する	△	
● 現場への相乗りを推進する	△	
● 毎月の走行距離の記録、比較	○	
● 省エネ車両の導入	○	
廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・全社員が取組みを徹底できた。 ・廃棄物の分別については徹底できていた。 ・廃棄物が増加している。 次年度は削減をするよう心がける。
● 可燃ごみ・不燃ごみの分別収集	○	
● 産業廃棄物の削減、分別処理の徹底 (分別処理とリサイクルを処理業者に依頼する)	○	
● コピー用紙の使用量の削減	△	
● 使い捨ての製品の購入を控える	○	
総排水量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比べると排水量が削減できている。 ・更なる削減を徹底を図る。
● 手洗い時等、こまめに栓を閉める	○	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク商品の購入が出来ている。 エコマーク商品を購入するよう徹底する。 ・新設工事、改修工事共に省エネ及び高効率機器を主として提案出来ている。
● エコマーク製品の購入の推進	○	
● 省エネ・高効率製品提案	○	

7 環境関連法規等の取りまとめと遵守状況

1 環境関連法規等の取りまとめ

令和3年7月1日

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	当社の対応	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物収集・運搬及び処分業者との委託契約	契約(書)の締結 業者県知事許可証確認	○
	電子マニフェストの保管・管理 マニフェストの登録 処理終了確認	3日以内にマニフェスト情報の登録 運搬、中間処理、最終処分の報告確認	○
	保管基準の遵守、削減活動の実施 投棄禁止	不法投棄を行わない 産業廃棄物保管場所への掲示板の設置	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	仮置場や車両荷台を養生シートで覆う等	○
	蛍光灯、水銀灯等の保管管理	分別保管と適正処理	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物管理責任者の設置 処理委託先の実施確認と記録	法令遵守、体制整備 年1回確認、記録保管	○
道路運送車両法、道路法、道路交通法、自動車・PM法	登録・点検・整備 道路の保全、法定速度の遵守 燃料使用量の削減	事業者の義務及び一般的な責務	○
フロン排出抑制法	業務用空調設備等のフロン類の回収・破壊義務 空調機器:全ての第一種特定機器が対象 自身での簡易点検(3ヶ月に1回以上)実施	廃棄時に指定業者へ処理依頼 企業・法人の管理者が確認	○
環境基本法	一般的な自主努力		○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策への協力	○
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金支払い	該当無
家電リサイクル法	指定家電の適正処分	テレビ・冷蔵庫・エアコン 洗濯機等	該当無
資源有効利用促進法(PCリサイクル法)	OA機器の適正処分	パソコン・モニタ・他	該当無
消防法(危険物の取扱い)	火災の予防	危険物施設・物品の取扱いと火災予防対応	○
浄化槽法	浄化槽使用開始届出書	事務所新築時	○
	保守点検の実施	3か月に1度	○
	定期清掃の実施と記録の保管	1年に1回	○
	指定検査機関による定期水質検査と記録の保管	1年に1回	○

2 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

当事業所により適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘、利害関係者からの訴訟等も、過去3年間ありませんでした。

8 代表者による全体の評価・見直し記録

代表者	北堀電気工事(株) 代表取締役 北堀 一洋
作成年月日	令和3年8月30日

見直し関連情報	項目		報告・提案等の内容	報告者	環境管理責任者 北堀 一洋
	1	環境方針	電気工事業として、環境に特化した企画、設計、製品を中心に営業活動をおこなっていく。		
2	環境目標と実績及び目標達成状況	全体としては削減傾向にあるが、さらなる削減を目指す。			
3	環境活動計画及び取組の実施状況	節電向上のために、比較表等の作成、提示をする。			
4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	特になし。			
5	実施体制(組織)	特になし。			
6	外部コミュニケーション	近隣住民からの苦情、過去1年間無し。			
7	問題点の是正・予防処置の実施状況	廃棄物排出量が年々増加の傾向にある、工事内容に左右される部分もあるが、分別方法の検討を行うなど、環境に配慮した廃棄物処理方法を検討する。			
8	その他	特になし。			

全体評価・コメント(環境経営システムの有効性・取組の適切性等)

エコアクション21への取り組みを行っていくことで、環境への意識向上と共に各種経費の削減が出来ることが理想的と考える。
 そのために、さまざまな工夫、改修を行い数年をかけて社内環境を整え、現場環境についても省力化を図れる工具等を積極的に導入するなど設備投資を行ってきた。
 今後は客先などへの高効率省エネ商品等の提案をさらに積極的に行い、受注施工をおこなっていくことを目標としていく。

代表者による全体の評価・見直し	見直し項目		変更の必要性	「有り」の場合の指示事項等
	1	環境方針	有 <input type="radio"/>	無 <input checked="" type="radio"/>
2	環境目標	有 <input type="radio"/>	無 <input checked="" type="radio"/>	
3	環境活動計画・取組項目	有 <input type="radio"/>	無 <input checked="" type="radio"/>	
4	環境関連法規	有 <input type="radio"/>	無 <input checked="" type="radio"/>	
5	実施体制(組織)	<input checked="" type="radio"/> 有	無 <input type="radio"/>	社員全員が意識をもって参加できる体制作りを検討する。
6	問題点の是正・予防処置	有 <input type="radio"/>	無 <input checked="" type="radio"/>	
7	環境活動レポート	有 <input type="radio"/>	無 <input checked="" type="radio"/>	
8	その他のシステム要素	有 <input type="radio"/>	無 <input checked="" type="radio"/>	